

多様化する緑内障手術のアプローチ： 4タイプのデバイス 選択と使いこなし

—新しいMIGSの提案～新型インプラントまで—

日時 2024年11月16日(土) 11:50～12:50

会場 ザ・プリンス京都宝ヶ池 B1F ローズルーム
第13会場 〒606-0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町1092-2



座長

稲谷 大 先生 (福井大学)

2014年3月にニューワールドメディカル社アーメド緑内障バルブが承認され、日本での使用が開始されました。それから10年が経過しましたが、その間にニューワールドメディカル社から3種類の緑内障手術デバイスが発売され、現在4種類のラインナップが揃いました。その各々の特徴により、様々な形態の緑内障手術にアプローチすることができるようになりました。

今回のセミナーでは、まず新製品「ストリームライン」はどのような製品なのか、山岸先生にご紹介していただきます。続いて、瀧原先生に「カフクデュアルブレード グライド」の臨床成績などについて報告していただき、「アーメド緑内障バルブ」については、石田先生に豊富な自験例から解説していただきます。最後に、新製品「アーメドクリアパス」の使用経験を私が紹介します。

どのタイミングで、どのデバイスを選択すればいいのか、明日からの診療に役立つ情報が得られることと思います。多数の先生方のご参加をお待ちしています。



**ストリームラインを用いたnew MIGSは
Viscocanalostomy ab Interno?**

演者1

山岸 和矢 先生 (ひらかた山岸眼科)



**Kahook Dual Bladeを用いた線維柱帯切開術(眼内法)による
アプローチ～熊本大学病院における手術成績を中心に～**

演者2

瀧原 祐史 先生 (熊本大学)



アーメドバルブの効果と適応

演者3

石田 恭子 先生 (東邦大学医療センター大橋病院)



**新しいプレート付き緑内障インプラント(アーメドクリアパス)の
使用経験**

演者4

稲谷 大 先生 (福井大学)